



Nature News

撮影：10月8日 網張の森 ゲレンデ



ハウチワカエデ
(ムクロジ科)



オオカメノキ
(スイカズラ科)



ヤマウルシ
(ウルシ科)



レンゲツツジ
(ツツジ科)



ネバリノギラン
(ユリ科)

← 白樺ロッジ周辺のゲレンデ芝生の中で、オレンジ色に色付いた葉がひとときわ目につきます。



← ツルウメモドキ
(ニシギ科)

秋が深まる頃に黄色い実が割れて中の赤い種が見えます。美しい実と種を鑑賞できる低木です。

花も実も梅には似ていませんが、つるから伸びた枝は、葉のつき方を含め“梅”の枝に似ています。

参考：野草の名前秋冬
山と溪谷社



↑ ツルリンドウ (リンドウ科)

花が終わると、薄茶色になって落ちずに残りその中から美しい紅紫色に熟した実が出てきます。この実の感じからキツネノチョウチンと呼ぶ地方もあります。

参考：野山で楽しむ秋の草花
さ・え・ら書房

樹木の場所、森の様子等お気軽に
スタッフまでお声がけください。